

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日
上場取引所 東

上場会社名 清和中央ホールディングス株式会社
 コード番号 7531 URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)阪上 正章
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役管理本部長 (氏名)阪上 恵昭
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(TEL)06-6581-2141

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	48,241	17.9	67	△90.6	168	△79.2	7	△98.5
2022年12月期第3四半期	40,902	27.9	716	△29.4	809	△26.2	514	△28.2

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 △32百万円 (—%) 2022年12月期第3四半期 658百万円 (△29.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	1.95	—
2022年12月期第3四半期	130.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	40,466	15,907	38.7
2022年12月期	47,190	16,059	33.5

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 15,672百万円 2022年12月期 15,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	61,000	6.0	60	△92.6	180	△80.6	120	△80.3	30.48	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	3,945,100株	2022年12月期	3,945,100株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	8,009株	2022年12月期	7,409株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	3,937,341株	2022年12月期3Q	3,938,471株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの正常化や円安の影響を受け、サービス業を中心としたインバウンド需要は旺盛に推移し、個人消費に持ち直しの動きがみられました。また製造業では自動車関連を中心に、部品供給制約が緩和したことにより、回復の兆しがみられました。しかしながら、歴史的な物価上昇は長期化しており、所得改善の流れはあるものの、実質賃金はマイナスの状況が続いており、更には国内景気の下押しリスクに影響する世界経済は、中国の不動産市場の不振、米国の金利高止まり等、景気減速の警戒が一層強まりました。

鉄鋼業界におきましては、半導体供給不足の改善が窺われた自動車関連は回復の動きがみられましたが、建築関連は低調が続く中小建築だけでなく、大型建築も資材価格の高騰や人手不足が影響し、盛り上がりには欠ける状況が続きました。一方、昨年まで急騰していた鉄鋼価格は、海外価格との乖離や原料価格の下落もあり、一転して軟調に推移しました。また当社グループが属する鉄鋼流通業界では、価格転嫁が満足に出来ない中で販売競争が激化する、厳しい環境をむかえました。

このような経営環境下において当社グループは、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては適切な販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりました結果、東日本地区における鉄骨加工の完工増加等が寄与し、第3四半期連結累計期間の売上高は、482億41百万円（前年同期比17.9%増）となりましたが、利益面は在庫品の販売スプレッドの縮小に加えて、東日本地区における鉄骨工事関連で外注費用等の追加コストが収益を圧迫し、営業利益67百万円（前年同期比90.6%減）、経常利益1億68百万円（前年同期比79.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7百万円（前年同期比98.5%減）と、前年同期に比べ大幅な減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ67億23百万円減少し、404億66百万円となりました。この主な要因は、前渡金が24億71百万円、商品が20億59百万円、受取手形及び売掛金が13億47百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ65億71百万円減少し、245億58百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が19億14百万円、短期借入金19億円、前受金が16億21百万円、有償支給に係る負債が14億82百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、純資産は、前連結会計年度末に比べ1億51百万円減少し、159億7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の通期の連結業績予想につきましては、最近の動向を踏まえ、2023年2月14日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表の「2023年12月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,155,689	1,166,242
受取手形及び売掛金	19,064,460	17,717,249
商品	7,235,044	5,175,876
前渡金	7,527,270	5,055,808
その他	1,511,366	408,139
貸倒引当金	△77,097	△71,501
流動資産合計	36,416,732	29,451,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,633,683	1,689,969
土地	5,130,237	5,130,237
その他（純額）	731,344	729,481
有形固定資産合計	7,495,265	7,549,689
無形固定資産	734,574	816,554
投資その他の資産		
繰延税金資産	3,177	5,041
その他	2,540,266	2,643,808
投資その他の資産合計	2,543,443	2,648,850
固定資産合計	10,773,283	11,015,093
資産合計	47,190,016	40,466,907

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,898,649	16,983,965
有償支給取引に係る負債	1,659,724	177,666
短期借入金	3,650,000	1,750,000
未払法人税等	129,145	6,215
賞与引当金	24,733	189,463
役員賞与引当金	43,000	31,500
前受金	4,540,631	2,918,692
その他	516,668	798,304
流動負債合計	29,462,553	22,855,807
固定負債		
繰延税金負債	978,414	977,718
役員退職慰労引当金	280,670	292,050
退職給付に係る負債	205,331	230,109
その他	203,746	203,246
固定負債合計	1,668,162	1,703,124
負債合計	31,130,715	24,558,932
純資産の部		
株主資本		
資本金	767,562	767,562
資本剰余金	633,602	633,602
利益剰余金	13,471,444	13,360,999
自己株式	△26,112	△26,112
株主資本合計	14,846,497	14,736,052
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	967,620	936,670
その他の包括利益累計額合計	967,620	936,670
非支配株主持分	245,183	235,252
純資産合計	16,059,301	15,907,975
負債純資産合計	47,190,016	40,466,907

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	40,902,924	48,241,221
売上原価	36,790,413	44,527,184
売上総利益	4,112,510	3,714,036
販売費及び一般管理費	3,396,371	3,646,919
営業利益	716,139	67,117
営業外収益		
受取利息	1,048	1,746
受取配当金	19,707	46,423
仕入割引	44,719	33,127
助成金収入	12,051	—
その他	20,800	27,218
営業外収益合計	98,327	108,515
営業外費用		
支払利息	4,307	6,102
その他	875	1,303
営業外費用合計	5,183	7,405
経常利益	809,283	168,227
特別損失		
固定資産除却損	—	4,485
特別損失合計	—	4,485
税金等調整前四半期純利益	809,283	163,741
法人税等	289,915	166,105
四半期純利益又は四半期純損失(△)	519,368	△2,363
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5,274	△10,049
親会社株主に帰属する四半期純利益	514,094	7,685

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	519,368	△2,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139,490	△30,135
その他の包括利益合計	139,490	△30,135
四半期包括利益	658,859	△32,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	653,741	△23,263
非支配株主に係る四半期包括利益	5,117	△9,235

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	西日本	東日本	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,279,493	20,605,184	18,246	40,902,924	—	40,902,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,825	3,658	670,081	676,565	△676,565	—
計	20,282,318	20,608,842	688,328	41,579,489	△676,565	40,902,924
セグメント利益	545,244	216,179	374,199	1,135,623	△326,340	809,283

(注) 1. セグメント利益の調整額△326,340千円は、セグメント間の取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	西日本	東日本	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	23,071,278	25,151,766	18,175	48,241,221	—	48,241,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,438	15,090	650,095	666,625	△666,625	—
計	23,072,717	25,166,857	668,271	48,907,846	△666,625	48,241,221
セグメント利益又は損失 (△)	303,487	△259,963	343,778	387,302	△219,075	168,227

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△219,075千円は、セグメント間の取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。